

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		スペースについては、国の定める基準（児童一人当たり2.47㎡）を踏まえ、基準を満たしたスペースを確保するよう努めております。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		国の基準では、1つの事業所に児童発達支援管理責任者・管理者を1名以上配置し、児童10名までに2名、それ以上の児童が利用する際には児童5名につき1名増員することと定められており、基準を満たした職員体制を確保しております。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		入口にベビーサークルを設置し、安全面の強化を図っております。現時点では車いす利用の方の契約はありませんが、室内およびトイレはバリアフリーとなっており、室内を見渡ししやすい環境に整えております。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		毎日サービス提供後に清掃をおこなっており、心地よく過ごせるよう環境を整えております。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		訓練室以外の場所も使用したり、レイアウトを変更したりして活動内容に合わせた空間を整えております。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9		全職員が半年ごとの目標設定と振り返りをおこない、各職員のスキルアップを図りながら業務改善に努めております。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		毎年自己評価を実施して、保護者様にアンケート調査にご協力いただき、その意向を把握して改善につなげられるように努めております。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		毎朝のミーティングや毎月のリフレクション会議等で自由に話し合える場を設け、意見交換や協議をして改善につなげられるようにしております。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		9	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		年間予定を立てて研修を開催するだけでなく、いつでも随時できる研修動画も使って資質向上を図っております。	
適切な支援の提供	11 適切な支援プログラムが作成、公表されているか。	9		公式Webサイトにて公表しております。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9		個々の児童の発達段階や取り巻く環境に関する情報を丁寧に収集・分析し、児童および保護者様の意向・ニーズ・課題を適切に把握したうえで、放課後等デイサービス計画を作成しております。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		児童発達支援管理責任者を中心に個別支援計画会議を実施し、職員間でしっかりと情報共有をおこない、共通理解の下で支援をおこなえるよう検討しております。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		個別支援計画に基づき支援目標を設定し、支援内容について事前に打ち合わせをおこない、全職員で共有のうえ計画に沿った支援を提供しております。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		標準化されたアセスメントツールを活用し、健康・生活・言語・コミュニケーション、人間関係・社会性、認知・行動、運動・感覚等の状況を総合的に把握し、日々の療育に反映しております。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		こどものニーズや保護者様の意向を踏まえ、「本人支援」「家族支援」「移行支援」「地域支援・地域連携」等の視点から具体的な目標および支援内容を設定し、計画的に支援をおこなっております。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		管理者や児童発達支援管理責任者、また支援担当者の全員がチームとなって立案しており、共有しております。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		活動内容は発達段階に応じて繰り返しを取り入れながらも、楽しみながら取り組めるよう工夫しております。長期休暇には公共の場でマナー学習や体験学習等を取り入れ、多様な経験ができるよう努めております。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9		児童一人ひとりのニーズと課題に合わせて個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、支援計画を作成しております。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		毎朝、その日の利用児童の担当や役割分担を明示し、全員で共有しております。	
	21 支援終了後は、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		支援終了後は翌日のサービス前に振り返りをおこない、支援内容や気づきについて共有し、継続的な支援の質の向上に努めております。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		日々の支援内容は必ず記録に残し、支援前には様子の詳細や疑問点について職員間で共有をおこない、支援の検証および改善につなげられるよう努めております。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		少なくとも6か月に1回はモニタリングを実施し、園や学校等のお困り事や保護者様のご意向に沿った支援計画の見直しをおこなっております。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	9		利用児童の課題・保護者のご意向を基にガイドラインの示す活動を組み合わせる支援計画を練り、支援をおこなうよう努めております。	
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を促す力を育むための支援を行っているか。	9		こどもの課題・発達段階に合わせて支援をおこなう中で、楽しみながら自己選択ができる機会を設けています。	
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービ担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		担当者会議には、利用児童の状況を十分に理解している職員が参画し、関係機関との情報共有および相互理解に努めております。	
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9		必要に応じて情報共有と相互理解を図り、より良い支援へと繋げております。	
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9		学校側と日頃からこまめに情報共有をおこなう、行事予定の交換・連絡調整を適切に行うことでスムーズな利用へと繋げています。	
	29 就学前に利用していた保育園や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9		就学時には保護者様の意向を踏まえ、担当者会議の場を通して小学校との間で情報共有や相互理解を図っています。	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9		現在までに該当する児童の契約はありませんが、今後対象児童が卒業する際には、関係機関へ必要な情報提供をおこない、円滑な移行支援に努めてまいります。	今後、対象となる児童が卒業する際には、関係機関へ必要な情報を提供し、移行先での活動に役立てられるよう努めてまいります。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9		現在、児童発達支援センターとの連携は限られております。今後は必要に応じて連携体制を整え、助言や研修の機会の確保に努めてまいります。	今後、必要に応じて連携を図ってきたいと思っております。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	9		個人情報保護の観点から地域交流の機会は限定的ですが、児童の状況や保護者様のご意向を踏まえ、交流機会の創出について検討してまいります。	児童の現状や保護者様のご意見を踏まえて、必要に応じて交流会等の機会を検討してまいります。
	33 (自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。		9	現時点では(自立支援)協議会等への参加が十分ではありませんが、今後は日程調整を図り、参加機会の確保に努めてまいります。	今後は日程調整を図り、積極的な参加に努めてまいります。
	34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	9		送迎時のやり取りや連絡簿を利用して保護者様と児童の状況や変化などの情報交換をおこない、共通理解を深めております。	
	35 家族への対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	2	保護者様の子育ての悩みやご相談に寄り添うような支援を心がけております。ご家庭で実践しやすい方法の提案や助言をおこなっております。	児童の特性や保護者様の抱えいらっしゃるお困りごとに対し、個別に対応方法の提案や助言を継続しておこなっております。
	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		契約時に運営規程や利用者負担等について丁寧に説明をおこない、ご不明な点がないか確認しながら理解を深めていただけるよう努めております。	
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		児童発達支援計画を作成する前に、アセスメントの時点で必ず児童や保護者様の意向を確認しています。	
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9		支援内容についてより分かりやすいよう一つひとつ具体的に説明し、保護者様から計画の同意を得ています。	
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に対応し、面談や必要な助言や支援を行っているか。	9		保護者様だけでなく、ご家族の皆様にも配慮しながら相談しやすい関係づくりを心がけております。ご相談を受けた際には、ご家庭で実践しやすい具体的な対応方法の提案や助言をおこなっております。	
	40 父母会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		9	個人情報保護の観点から、保護者様同士の交流機会は実現できておりませんが、ご意向を踏まえながら今後の実施について検討してまいります。	今後は保護者様のご意見を伺いながら保護者様参加型の行事や保護者様同士や保護者様と職員との交流機会等を検討してまいります。
41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備することともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		相談や申し入れに対応できる体制を整えており、契約時に周知しております。また、相談や申し入れがあった場合には迅速かつ適切に対応しております。		
42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		毎月事業所より発行し、療育や行事の様子を掲載しております。また、LINE公式アカウント、YouTube、Instagram、公式Webサイト等を活用し、情報発信に努めております。		
43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		個人情報の使用や使用後の処理、保管については細心の注意を払い、鍵付の書庫にて厳重に保管しております。		
44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		専門用語などを避け、分かりやすく丁寧な情報伝達を心がけております。児童の日々の様子を連絡帳などでお伝えしておりますが、送迎時には保護者様と直接お話しし、より詳しい内容をお伝えしております。		
45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		9	感染症予防の観点から今年度も地域の方をご招待する機会を設けることができずしております。	今後は保護者様のご意見を伺いながら地域の方との交流機会を検討してまいります。	
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		各種マニュアルは事業所内に掲示し、職員へ周知しております。また、避難訓練を定期的に実施し、緊急時に適切な対応ができるよう努めております。	
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		業務継続計画を策定し、年間計画を立てて地震・火災・風水害等を想定した避難訓練を実施し、職員の意識づけや連携を図るよう努めております。	
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		アセスメントの際に保護者様から聞き取りをおこない、児童の服薬や予防接種、発作等の状況について全職員が把握できるよう努めております。服薬については与薬依頼書を確認のうえ対応しております。	
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		アセスメントの際に保護者様から聞き取りをおこない、児童のアレルギーについては全職員が把握し、指示書に基づいて対応しています。	
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		安全計画を作成し、事業所・設備・施設外環境の安全点検をおこなうとともに、各種マニュアルおよび計画を策定し、研修や訓練を実施することで安全管理に努めております。	
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		災害発生時の避難先について契約時や書面にてお知らせするとともに、災害時や想定した避難訓練を定期的におこない、実施内容を報告しております。	
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		ヒヤリハットが発生した場合は詳細に記録し、職員間で共有しております。事例も職員間で共有し、定期的に振り返りをおこない、再発防止および事故の未然防止に努めております。	
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		虐待防止委員会を設置し、虐待防止研修および身体拘束適正化研修を全職員が受講しております。	
	54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9		身体拘束は原則としておこないません。生命または身体の保護のためにやむを得ず必要となる場合は、組織的に判断し、事前に十分な説明をおこない保護者様の同意を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載し対応するよう努めております。	